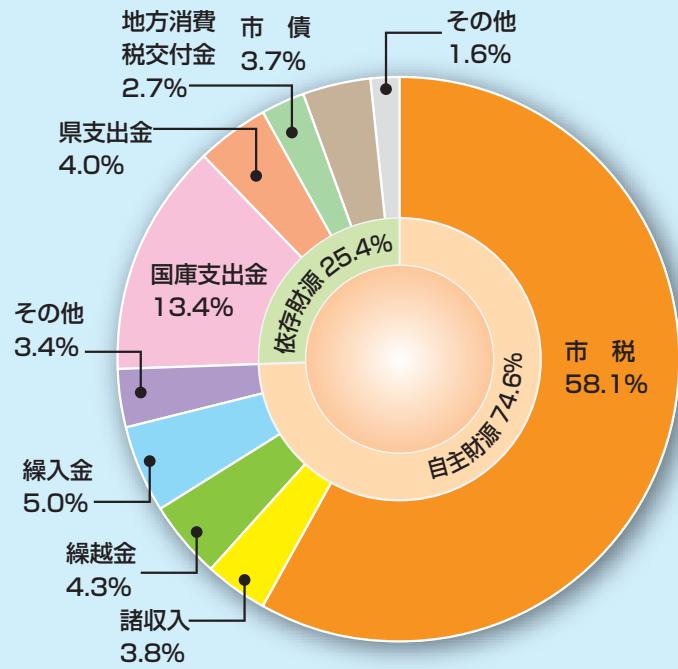
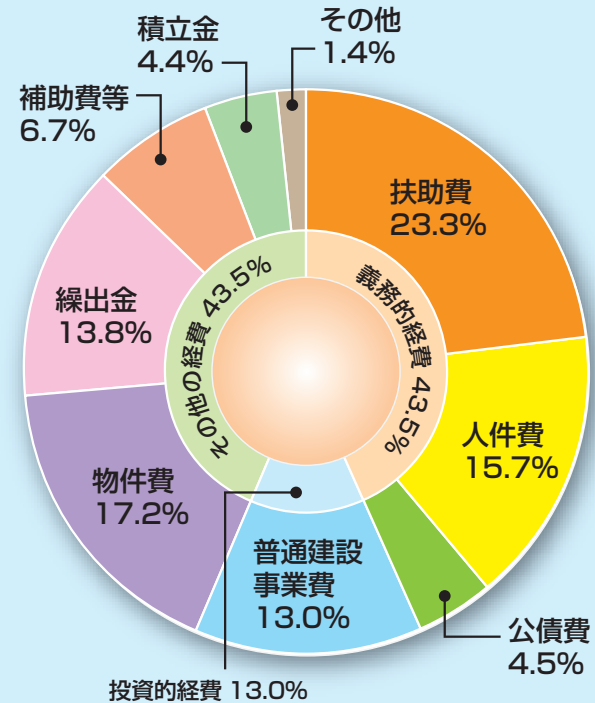


平成 22 年度決算のあらまし

● 一般会計歳入



● 一般会計歳出



財政の健全化判断比率の報告

単位 %

健全化判断比率	21年度	22年度
実質赤字比率	(11.87)	(12.00)
連結実質赤字比率	(16.87)	(17.00)
実質公債費比率	5.6 (25.0)	5.8 (25.0)
将来負担比率	43.2 (350.0)	42.0 (350.0)

(注) ①()は早期健全化基準を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

目的別の歳出内訳

款	構成比(%)
1. 民生費	38.7
2. 土木費	16.1
3. 教育費	14.7
4. 総務費	10.8
5. 衛生費	7.0
6. 公債費	4.5
7. 消防費	3.2
8. 商工費	1.2
9. その他	3.8

健全化判断比率とは

- 自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐことをねらいとして、制定されたものです。
- 毎年度、実質赤字比率など4つの財政指標を算定の上、監査委員の審査に付して、議会に報告し、議会・住民のチェックを受け、財政規律の強化を図ることを目的としています。
- これにより、自分たちが住む自治体の財政状況は、「赤字」なのかどうか、「借金」「貯金」はどのくらいあるのかなどが明らかになります。

受け、財政規律の強化を図ることを目的としています。

これにより、自分たちが住む自治体の財政状況は、「赤字」なのかどうか、「借金」「貯金」はどのくらいあるのかなどが明らかになります。

財政健全化指標は

“オールグッド!”

※千円単位は切り捨て

	平成22年度	前年度比
一般会計 歳入(1年間の収入)	446億1,746万円	3.3%減
一般会計 歳出(1年間の支出)	433億9,676万円	1.9%減
特別会計 歳入	238億2,913万円	1.8%増
特別会計 歳出	231億 831万円	2.5%増

(注)特別会計は15会計の合計額です。

水道事業会計	収益的収入	25億 85万円	資本的収入	2,599万円
	収益的支出	21億8,988万円	資本的支出	10億8,679万円

平成22年度決算
監査報告
高浪代表監査委員



歳入 歳入 歳入
歳出 歳出 歳出
算書、算書、算書
歳入歳入歳入
出決算 出決算 出決算
事項別 事項別 事項別

すべて3・3%の減少。減少となった主な内訳として、市債15億円、諸収入6億円の減少などが挙げられる。

歳出では、前年度比1・9%の減少。減少の主な内訳として、総務費24億円、民生費2億円などが挙げられる。

特別会計15会計の歳入歳出差引額は約7億円、実質収支額は約6億円の黒字となっている。

明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、地方自治法に準拠して作成されており、その計数は正確であることが認められ、予算執行も、その趣旨に沿い、おおむね適正かつ効果的に執行されているものと認められた。

我が国の経済は、平成21年春を底に、徐々に回復局面に向かってきていた。しかしながら、平成23年3月11日の東日本大震災の影響は、生産活動を低下させ、その後の電力問題も含め、これからの景気動向に与える大きな懸念材料となっている。

このような状況のもと、一般会計の歳入は、前年度と比較して、純利益が5500万円余の減少。要因の一つとして、大型マンション建設に伴う負担金収入が当年度は計上されなかったことが挙げられる。

水道事業の経営指標の一つである有収率は95・0%と高い水準を維持している。

以上、一般会計・特別会計及び水道事業会計は、健全財政が堅持されていることを確認した。